

呉市立安浦中学校 1年生防災学習

自衛隊広島地方協力本部呉地域事務所から学ぶ防災講座と実践ワークショップを開催しました！

近年の災害事例や自衛隊の活動内容についてお話を伺うとともに、非常時に役立つ実践的なロープワークや担架づくりを学びました。今回の講座の内容を3つのテーマに分けてご紹介します。

1. 災害への備えと「自助7：共助2：公助1」の考え方

長尾所長より、近年日本国内で発生した災害の振り返りと自衛隊への災害派遣要請から実際の救援活動に至るまでの取り組みについてご講話いただきました。講話の中で強調されたのは、防災における基本原則「自助7：共助2：公助1」の重要性です。大規模災害時には行政や公的機関による支援（公助）が届くまでに時間がかかるため、まずは「自分の命は自分で守る（自助）」という強い意識を持つことが防災の第一歩であると改めて学びました。



2. いざという時に命を守る「ロープワーク」実践

講話に続き、避難行動や資材の固定、救助シーンなどで役立つロープワークの体験講座を行いました。解けにくく頑丈でありながら、必要な時には簡単に解けるプロの結び方を教わり、参加者の皆さんも実際に手を動かしながら繰り返し練習に励みました。いざという時にスムーズに動けるよう、日頃から身につけておきたい実践的な技術です。



3. 身近な物で素早く作る「手作り担架」体験

最後のセッションでは、家庭や避難所にある身近なアイテムを活用した担架づくりに取り組みました。特別な防災機材がなくても、毛布や棒、上着などを組み合わせるだけで、負傷者を安全に搬送できるしっかりとした担架が完成します。実際に人を乗せて運ぶ体験を通して、アイデアと工夫次第で身の回りの品が立派な救急道具になることを実感しました。

